

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	勉強レストランそうなんだ!!		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 21日		～ 2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日		～ 2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの多様性	<p>①工作 ハサミの使い方や接着剤の塗布など、手先の運動を意識した工作プログラム。</p> <p>②そうなんだフェスティバル 保護者の方、きょうだい児の方、地域の方などをご招待して朗読、演奏、お子さんのからふるスタディ（お子さんの興味のあるテーマについて調べたことを発表する。）、ダンスなどを披露するプログラム</p> <p>③長期休暇のプログラム コンビニやスーパーマーケット、個人商店などに昼食やおやつを買いに行く買い物プログラム、公共交通機関を利用しての遠足、クッキングなど様々なプログラムを提供している。買い物プログラムでは、購入した物の名称や使った金額、おつりを記入する振り返りシートを活用している。</p>	<p>現在、事業所のプログラムは学習を中心としたプログラムが多く、体を動かすプログラムが少ないため、ストレッチや室内でできる運動を取り入れたプログラムの導入を検討中。</p>
2	保護者との情報共有	<p>①公式LINEの導入 2024年に事業所の公式LINEを導入。これにより、急な欠席の連絡や提出物の期限の周知などが容易になった。</p> <p>②申し込みフォームの設置 イベントの参加申込や利用日登録のための申し込みフォームを設置した。</p> <p>③活動写真の共有 インターネットを通じて、保護者の方と写真を共有できるようにした。</p>	<p>今後はさらなる利便性向上のため、連絡帳アプリの導入を検討中。</p> <p>また、保護者の方に工作等のプログラムの目的や身に付けて欲しい技術や知識、プログラム中のお子さんの様子などを記したフィードバックを発信していく。</p>
3	学習支援	<p>①学習進捗の共有 お子さん1人1人がその日にどのような内容の学習をしているのか、学習に取り組んでいる時の様子をメモして共有のファイルに入れている。</p> <p>②からふるスタディ 担当職員がそれぞれ考えた多様なテーマの授業や、選挙の投票体験など。</p>	<p>今後はより細やかな学習支援を提供できるように、学習状況についてのみの会議の場を設けていく。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間、きょうだい間の交流機会の少なさ	<p>年末の発表会で茶話会の時間を設けてはいるが、年に1回と少ない。他のイベントではイベントを成功させることに気が向いてしまい、保護者の方やきょうだい児の方を招くことまで考えが及ばなかった。</p>	<p>年末の発表会での茶話会など、様々なイベントにおいて保護者の方やきょうだい児の方を招き、交流を図っていく。</p> <p>また、高校を卒業された元利用者とその保護者の方々を招いた同窓会を企画し、現在の利用者とその保護者の方々も招いて交流を図りたい。</p>
2	記録の共有が不十分	<p>学習支援の記録は手に取りやすい位置に保管してあるが、その他の記録は事務室の奥の方にある棚に保管してあるため、職員間で意識が浸透していない。</p>	<p>学習支援、ヒヤリハット等について口頭で共有するだけでなく、記録を付ける機会を設け、その記録を共有する会議を設ける。</p>

3	外部との連携（就学前、高校卒業後の機関など）が不十分	入所前の関係機関や高校卒業後の進路について、保護者の方へ詳しい情報の提供を求めていなかった。	今後は、新しく利用される方については契約時に保護者の方から就学前の情報を詳しく聞き取り、高校を卒業された方に関しても就労先の情報を詳しく聞き取って、連携を図りたい。
---	----------------------------	--	--